

取扱説明書

メッシュ式ネブライザ

MN-200



この度は、NOZOMI製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。なお、本書をお読みいただきました後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

1.安全上の警告及び注意	1
2.MN-200の紹介	3
3.操作方法	4
3.1充電方法	4
3.2薬の投入方法	5
3.3マスク・マウスピースの取り付け方法	5
3.4シリコンホルダーの取り付け方法	6
3.5大人用マスクの装着方法	7
3.6本器の使用法	8
3.7本体の表示灯の説明	9
4.洗浄・消毒	10
4.1薬液カップの洗浄・消毒方法	10
4.2本体の洗浄方法	11
4.3マウスピース・マスクの洗浄・消毒方法	12
4.4部品の洗浄方法	12
5.別売品について	13
6.保管及びメンテナンス	13
6.1保管条件	13
6.2使用条件	13
7.ガイダンス及びメーカーの宣言	14
8.トラブルシューティング	17
9.記号の説明	18
10.仕様	19
11.製造販売業者等情報	20
12.電子添文	20
13.保証書	21
保証規定	22



警告： 誤った取扱をした場合に、死亡あるいは重傷を負う可能性が想定されます。

<p>本器は医療機器です。必ず医師の指導に従って正しくご使用ください。薬液の種類、用量、用法については、必ず専門の医師の指導に従ってください。使用中に何か異常を感じた場合、すぐに使用を止め、担当医師にご相談ください。</p>	
<p>本器を複数の患者が共有する場合は、必ず使用する患者ごとに薬液カップ、マウスピース、マスクをご使用ください。交差感染の恐れがあります</p>	
<p>メッシュプレートには医療用綿棒のみご使用ください。素手や布などでは触れないでください。綿棒などで突かないでください。破損する恐れがあります。</p>	
<p>電磁干渉を避けるため、本器を2W以上の消費電力を使用する電気製品から3.3m以上離してご使用ください。心臓ペースメーカーを装着している方は担当医師にご相談ください。</p>	
<p>意識がない患者または自発呼吸下でない患者に使用しないでください。事故の原因になります。</p>	
<p>薬液カップを空のまま本器を起動させないでください。発熱や故障の原因になります。</p>	

<p>エステル、脂肪、懸濁粒子、ハーブを含む薬を使用しないでください。医師の指導に従って標準の噴霧薬をご使用ください。</p>	 薬
<p>特定の薬物治療を受けている場合は医師の指導に従ってください。</p>	
<p>一度使用した薬液は廃棄し、吸入ごとに新たな薬液を使用してください。雑菌が繁殖し、症状悪化の原因になります。</p>	
<p>顔に薬液が残らないように、マスクを取り外した後必ず顔を拭いてください。肌荒れの原因になります。</p>	
<p>噴霧された薬液を直接目に当てないでください。</p>	
<p>ペンタミジンは使用できません。</p>	

水の吸入はしないでください。喉、鼻の加湿を目的とした機器ではありません。症状悪化の原因になります。

<p>小さなお子様手の届かないところに置いてください。小さな部品を飲み込む恐れがあります。飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。</p>	
<p>小さなお子様または体が不自由な方が使用する場合は、保護者または介護者の方が必ず付き添ってください。使い方を誤ると、症状悪化の原因になります。</p>	

⚠ 注意： 誤った取扱をした場合に、使用者が傷害を負ったり物的損害の発生が想定されます。

<p>濡れた手で本器を使用したり、アダプタのソケットや電源スイッチに触れたりしないでください。</p>	
<p>本体を水やその他の液体に浸したり、本体やACアダプタに水やその他の液体がかからないようにし、電源を切ってから、すぐに清潔な布で拭いて乾燥させてください。</p>	

<p>浴室など湿気の多い場所で使用・保管はしないでください。指定条件以外の環境・方法での使用はしないでください。</p>	
<p>取扱説明書に記載されている付属品は、本器専用のものです。本器の付属品および別売品以外は使用しないでください。正常に噴霧せず症状悪化の原因になります。</p>	
<p>本器やパーツを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。</p>	
<p>お客様ご自身で修理・分解しないでください。</p>	
<p>薬液カップに薬を入れて持ち運んだり、放置したりしないでください。故障の原因となります。</p>	
<p>人以外に使用しないでください。事故やトラブルの原因になります。</p>	
<p>本器を火中に投入しないでください。</p>	
<p>お住まいの自治体のルールに従い廃棄してください。</p>	
<p>本器に破損や故障がある場合は使用しないでください。</p>	
<p>本書に記載しているイラストはイメージ図です。</p>	

製品概要 本器は呼吸器疾患の吸入療法に使用することを目的としています。

- 対象使用者**
- ・ 医師、看護師、療法士などの専門知識を有した医療従事者
 - ・ 医療従事者の指導を受けた介護者および患者本人
 - ・ MN-200の安全な操作と取扱説明書の文章を理解できる人

セット内容
(収納ケースの中身)

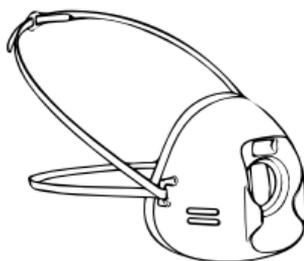
薬液カップ付き本体	1台
マウスピース	1個
大人用マスク	1個
子供用マスク	1個
USBケーブル	1本
シリコンホルダー	1個
取扱説明書(本書)	1冊



薬液カップ付き本体



マウスピース
※5歳以上の子供から使用できます



大人用マスク
※8歳以上の子供から使用できます



子供用マスク



シリコンホルダー



USBケーブル



取扱説明書

図1 セット内容

本器を初めて使用するとき、または使用前後は薬液カップ、大人用マスク、子供用マスク、マウスピースの洗浄・消毒を行い、その後乾燥させてください
 (「4. 洗浄・消毒」10-12ページをご参照ください)。

3.1 充電方法

本器はリチウムイオン電池を内蔵しており、充電して使用することができます。

充電残量が少なくなると、本器稼働中に赤色の表示灯が点滅します。充電する場合は、本器と同梱されているUSBケーブルを使用し、AC電源アダプタ(別売)と本器を接続してください。(図2)充電中は赤い表示灯が点滅し、充電が完了すると赤い表示灯が点灯したままになります。充電完了後、USBケーブルを抜いてください。

※内蔵電池は1度フル充電すると約1時間噴霧が可能です。(1日20分使用で3日以上使用可能)

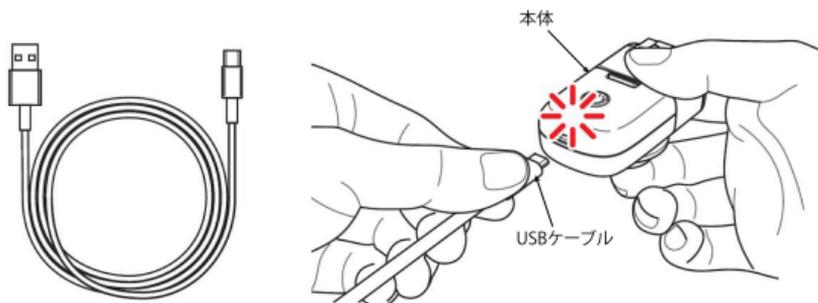


図2 USBケーブルの接続

お願い

(1) アダプタをご使用の場合は、別途購入する必要があります。出力ポートはAC電源と一致するようにご確認ください。

(2) 安全にご使用頂くため、電気安全規格IEC 60601-1に準拠したアダプタをご使用ください。

(3) PCに接続する場合は、IEC60601-1規格適合のパソコンをご使用ください。

アダプタの仕様	
入力電圧	AC 100~240V, 50/60Hz
出力電圧	DC 3~5V, 1~2A

3.2 薬の投入方法

NOZOMI

方法 a (図3)

薬液カップに薬を注入
(8mlまで入れてください)

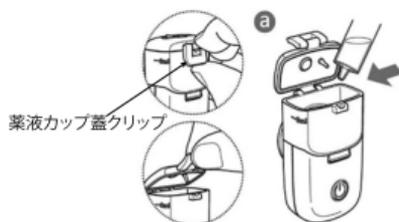


図3 薬の注入(方法a)

※大人用マスクを取り付けている場合は、
本体から取り外してください。

1. 薬液カップの蓋を上を開け、薬液カップ
に薬を注入します。
2. 薬液カップの蓋をし、蓋のクリップを止め
ます。

方法 b (図4)

ゴム栓から薬を注入
(10mlまで入れることができます)

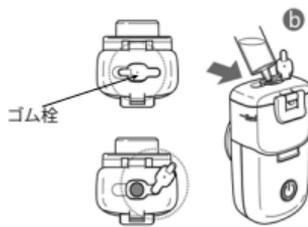


図4 薬の注入(方法b)

1. 薬液カップ上部のゴム栓を抜き、回転させ
注ぎ口を出し、カップに薬を注入します。
2. 薬液注入後にゴム栓をしっかり閉めます。

⚠️ お願い

(1) 薬の投入後、薬液カップ内の噴霧メッシュに気泡がないかを確認してください。気泡があると正しく作動せず、噴霧が停止する場合があります。気泡がある場合は、薬液カップを振って気泡を取り除いてください。

(2) 明らかな液漏れがある場合は、薬液カップ蓋クリップが閉まっているか、薬液カップ蓋の内側のパッキンが緩んでいたり、欠けていたりしないかご確認ください。

3.3 マスク・マウスピースの取り付け方法

※本体から保護キャップを外し、マスクまたはマウスピースを取り付けてください。

大人用マスクは、両側をつまんで形を整え、マスクに本体を正面からカチッと音がするまではめ込みます。(図5)



図5 大人用マスクの取り付け方法

本体は、マウスピースや子供用マスクと一緒に手で持って使います。

子供用マスクの場合は、図6のように取り付けてください。(図6) マウスピースは、水平に取り付けてください。



- (1) 口から吸入する場合は、マウスピースをご使用ください。
- (2) 鼻や口から吸入する場合は、マスクをご使用ください。

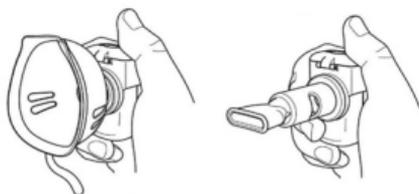


図6 子供用マスク及びマウスピースの取り付け方法

3.4 シリコンホルダーの取り付け方法



図7.1 シリコンホルダーの使用方法

シリコンホルダーの裏側から薬を入れた本体を挿入します。位置を調整して本器に合わせます。(図7.1)

シリコンホルダーは、落下による損傷を防ぎ、使用中に誤って薬液カップの蓋が開き、薬が漏れるのを防ぎます。シリコンホルダーを使用することにより本体が持ちやすくなります。(図7.2)



図7.2 子供用マスク・シリコンホルダー

薬を注入する際、シリコンホルダーに本体を差し込み立たせることができます。(図7.3)

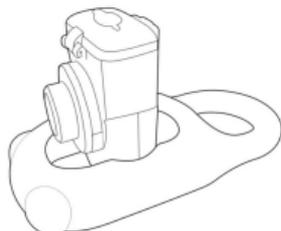
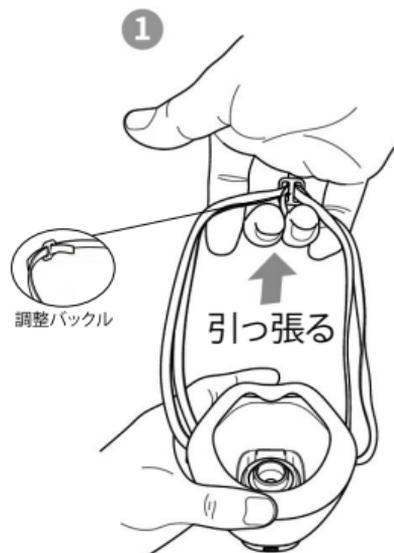
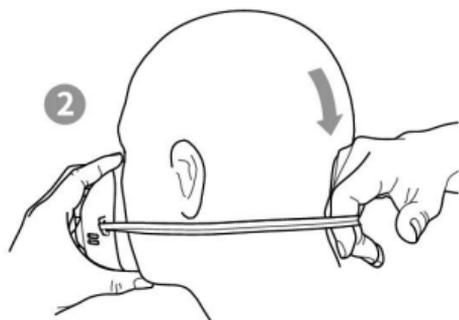


図7.3 本体を立たせる様子

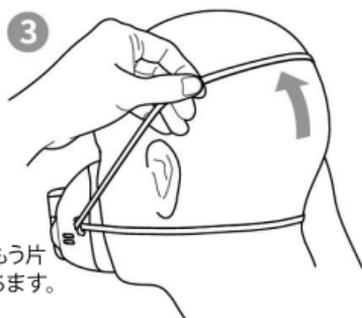
3.5 大人用マスクの装着方法



↑片方の手でマスク本体を持ち、もう片方の手でヘッドバンドを2本持ちます。

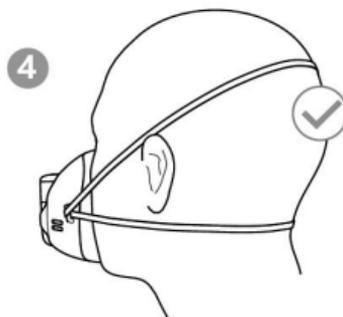


↑マスクを鼻と口に装着し、2本のヘッドバンドを伸ばし、首の後ろに装着します。



↑上のバンドを頭頂部まで引っ張り、2本のヘッドバンドの位置が安定するように調整します。

緩すぎたり、きつすぎたりする場合は、ヘッドバンドの長さを調節し、ご着用ください。2本のヘッドバンドが耳の上側と下側にあり、安定していれば正しい装着方法です。



3.6 本器の使用方法

使用中は、本器を真っ直ぐまたは少し後ろに傾けて使用し、左右にズレがないようにしてください(図8)。前傾姿勢の状態では、薬液が本器に接触しにくくなり、噴霧が停止する場合があります。本器を強く振ったり、動かしたりすると、噴霧が停止することがあります。

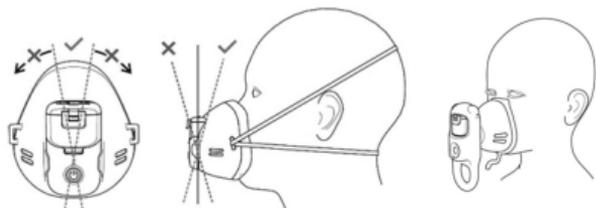


図8 本器の正しい使用方法

※子供用マスクを使用する際は、マスクをおさまの顔に軽く当て、口と鼻を覆うようにしてください。

1. 電源を入れてください。緑の表示灯が点灯します。
2. 数秒後に薬液の噴霧が開始します。



注意

- (1) マウスピースを使用する場合は、唇を少し閉じた状態でマウスピースの平らな部分を口に入れ、吸い込むようにしてください。
- (2) マスクを使用する場合は、顔にフィットさせ、同時に口と鼻を覆うようにしてください。
 - ① 鼻腔に吸収させる場合、鼻から息を深く吸い込み、口から吐き出すことをお勧めします。
 - ② 喉に吸収させる場合、口から息を深く吸い込み、鼻から吐き出すことをお勧めします。
 - ③ また、使用中は①と②を交互に使用することができます。
- (3) 霧化した液体を舌に吹き付けたり、マウスピースを噛んだりせず正しくご使用ください。
- (4) 使用中は、ゆっくりとした深い呼吸のリズムを保ってください。
- (5) 使用中は、薬液が皮膚に付着します。使用後は必ず洗顔してください。顔を洗えない場合は、湿ったガーゼなどで顔をぬぐってください。

3. 薬液の噴霧が完了したら、電源を切ってください。表示灯が消えます。
※20分間連続使用すると、自動的に電源が切れます。
4. 使用后、薬液カップ、マスク、マウスピースを洗浄してください。（「4. 洗浄・消毒」10-12ページをご参照ください。）
5. 洗浄後は、薬液カップ、マスク、マウスピース、本体を乾燥させてから保管してください。（「6.1 保管条件」13ページをご参照ください。）



- (1) 上記の操作で噴霧が発生しない場合は、「8. トラブルシューティング」17ページをご参照ください。
- (2) 本器の破損を防ぐため、薬液カップの空での使用はお避け下さい。
- (3) ご使用中に赤い表示灯が点滅（電池残量少）した際は、充電して使用ください。

3.7 本体の表示灯の説明

表示灯の状態	説明	回答および備考
緑色のランプが点灯し続ける	正常	使用できます
オレンジ色のランプが点灯し続ける	クリーニングモード	電源ボタンを長押しすると、間欠噴射しメッシュを洗浄します
使用中に赤いランプが点滅する	電池残量が少ない	電源プラグを差し込んで充電してください
充電中に赤いランプが点滅する	充電中	充電中は使用できません
赤いランプが点灯し続ける	充電完了	USBケーブルを抜いてください

4.1 薬液カップの洗浄・消毒方法

1. 噴霧後は薬液カップの蓋を開け、薬液カップ内に残っている液体を捨てます。
2. 薬液カップに少量の温水(水温40℃～50℃)を入れ、蓋を閉めたら、薬液カップを振り、中の液体を捨てます。

3. クリーニングモード

2mlの温水を注入し、電源ボタンを5秒間長押ししてクリーニングモード(間欠噴射、オレンジ色の表示灯が点灯)にしてください。温水がなくなったら、電源を切ります。

4. 本体に残った薬液を洗浄します(「4.2本体の洗浄方法」11ページをご参照ください)。

5. 薬液カップを本体から取り外して、薬液カップと薬液カップ蓋の内側と外側を水で洗い流します。洗浄後は、清潔なガーゼで水分をやさしく拭き取ってください。メッシュプレート(図9)は医療用綿棒で丁寧に拭いてください。



図9メッシュプレート



ペーパータオル、布などで水分を拭き取ると、メッシュに埃や布きれが付着し、正
常に噴霧できなくなる場合があります。

※消毒が必要な場合:

本器を初めて使用する際、長期間使用されなかった場合は、必ず消毒してから
ご使用ください。

薬液カップは75%医療用アルコールに3分以上浸して消毒します。手指消毒用アルコール液も
使用可能です。消毒後、薬液カップを取り出して清潔な場所で乾燥させてから、保管してくだ
さい。

※メッシュが詰まった(噴霧が十分でない)場合:

クリーニングモードをご使用ください。クリーニングモードを使用後、薬液カップを本体から取
り外し、薬液カップの蓋を開けてお湯(水温80℃)に約3分間浸し、薬液カップを取り出して水で
すすいでください。



薬液カップロック解除ボタン

※薬液カップを取り外すには：

薬液カップロック解除ボタンを押し下げ、同時に薬液カップを後ろに引き、薬液カップを本体から引き離します。(図10)

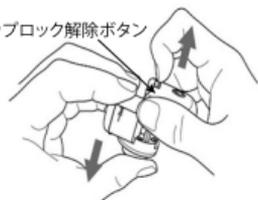


図10 薬液カップの取り外し方法



お願い

- (1) 洗浄・消毒する際は、清潔で新しいガーゼや医療用綿棒をご使用ください。
- (2) メッシュに鋭利なもの、硬いもので触れないでください。
- (3) 薬液カップを浸すときは、薬液カップの蓋を開けてください。

4.2 本体の洗浄方法

1. 本体外装に汚れがある場合は、75%医療用アルコールを含ませたガーゼで拭き取った後、乾いたガーゼで拭いてください。
2. 乾いたガーゼで本体と薬液カップの電極を拭き、電極が接続されると、本器が正常に作動することを確認ください。



- (1) 本体を拭くときは、揮発性液体（ベンジン、シンナーなど）を使用しないでください。
- (2) 本体は防水仕様ではないので、洗ったり液体に浸けたりしないでください。
- (3) 洗浄や消毒をするときは、電源を切り、電源コードを抜いてください。



本体は防水仕様ではありません

3. 洗浄・乾燥後、薬液カップを取り付ける。薬液カップを前方に押し出し、本体背面から取り付けて、前に押ししてください。(図11)



図11 薬液カップの取り付け方法

4.3 マウスピースとマスクの洗浄・消毒方法

1. 大人用マスクのソフトエッジを外し(図12)、マウスピースとマスク、大人用マスクのソフトエッジの全表面を水で2～3分間すすいでください。
2. 新しいガーゼで水を拭き取り、十分に乾燥させてから保管してください。
3. 大人用マスクのソフトエッジは洗浄後乾燥させてから取り付けてください。

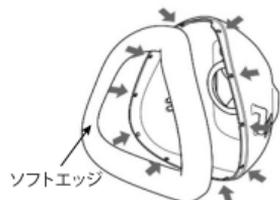


図12 大人用マスクのソフトエッジの取り外し

※消毒が必要な場合:

本器を初めて使用する際、長期間使用されなかった場合、または使用者が変更された場合は、必ず消毒してからご使用ください。

75%医療用アルコールを使用して、マスクとマウスピース、大人用マスクのソフトエッジの全表面を十分に拭き、消毒してください。消毒した後は十分に乾燥させてください。

大人用マスク、子供用マスク、マウスピースの洗浄・消毒を欠かさずに行ってください。本体、薬液カップ、付属品は、水滴やミストがついたまま保管すると、細菌が繁殖する恐れがあります。

4.4 部品の洗浄方法

部品名	耐水性	耐熱性	洗浄方法
本体	×	×	柔らかい布で拭く
薬液カップ	✓	×	ぬるま湯に浸して洗浄
大人用マスク	✓	✓	ぬるま湯に浸して洗浄・煮沸
子供用マスク	✓	✓	ぬるま湯に浸して洗浄・煮沸
ヘッドバンド	✓	✓	ぬるま湯に浸して洗浄・煮沸
マウスピース	✓	✓	ぬるま湯に浸して洗浄・煮沸
シリコンホルダー	✓	✓	ぬるま湯に浸して洗浄・煮沸



使用時に皮膚に接触する全ての材質は生体適合を満たしています。

5. 別売品について

※薬液カップ、大人用マスク、子供用マスク、マウスピースが破損したり経年劣化の場合は、交換してください。

品名	品番	購入方法
薬液カップ	MN-200-C1	販売店までお問い合わせください
大人用マスク	MN-200-MA1	
子供用マスク	MN-200-MC1	
マウスピース	MN-MP1	

6. 保管及びメンテナンス

6.1 保管条件

- (1) 温度: -20°C ~ 55°C
- (2) 湿度: 5~80% RH (但し、結露のないこと)
- (3) 気圧: 70.0~106.0kPa

	本器の耐用期間は3年です。
	使用後は、毎回洗浄・消毒してください。本器を組み立て、収納ケースに入れるか、清潔な環境で保管してください。
	直射日光が当たらない、湿気のないところ、腐食性ガスのないところに保管ください。また、加熱装置・直火に近づけないでください。

6.2 使用条件

- (1) 温度: 10°C ~ 40°C
- (2) 湿度: 5~80% RH (但し、結露のないこと)
- (3) 気圧: 86.0~106.0kPa

	上記の使用環境で使用してください。
	本器や付属品は暖房器具や直火のそばで使用しないでください。また、電子レンジ、オーブン、ヘアドライヤーなどで乾燥させないでください。
	本器およびその付属品を腐食性液体やガスに接触させないでください。

NOZOMI 7. ガイダンス及びメーカーの宣言

ガイダンスおよびメーカーの宣言 - 電磁放射

メッシュ式ネブライザMN-200は、以下に指定された電磁環境での使用を意図しています。指定された環境で使用してください。

放射試験	適合性	電磁環境 - ガイダンス
RF 放射 CISPR11	グループ 1	モデルMN-200は、内部機能にのみRFエネルギーを使用します。したがって、RF放射は、非常に低く、お近くの電子機器に対して何らかの干渉を与える可能性は低いです。
RF 放射 CISPR11	クラスB	モデルMN-200は、一般家庭または家庭用建造物に電力を供給する公共の低電圧電源網に直接接続されている施設を含む全施設での使用に適しています。
高調波放射 IEC61000-3-2	非該当	
電圧変動/フリッカエミッション IEC61000-3-3	非該当	

ガイダンスおよびメーカーの宣言 - 電磁イミュニティ

メッシュ式ネブライザMN-200は、以下に指定された電磁環境での使用を意図しています。指定された環境で使用してください。

イミュニティ試験	IEC60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境 - ガイダンス
静電気放電 IEC61000-4-2	±6 kV接点 ±8kVエア	±6 kV 接点 ±2kV、 ±4 kV、 ±8kV エア	床は木材、コンクリート、セラミックタイルであること。床が合成素材で覆われている場合は、相対湿度が30%以上であることが望ましいです。
静電容量方式 トランジェント/バースト IEC61000-4-4	電力線の場合±2KV 入出力線の場合±1KV	非該当	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望ましいです。
サージ IEC61000-4-5	±1KV線から線 ±2KV線から地面	非該当	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望ましいです。

<p>電源の電圧ディップ、短絡、電圧変動入力線 IEC 61000-4-11</p>	<p><5%UT、 0.5サイクル継続 (UTでは 95%以上一時低下) 40%UT、 5サイクル継続 (UTでは 60%一時低下) 70%UT、 25サイクル継続 (UTでは 30%一時低下) <5%UT、5S継続 (UTでは 95%以上一時低下)</p>	<p>非該当</p>	<p>電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望ましいです。メッシュ式ネブライザMN-200を主電源の中断中に継続的に操作する必要がある場合は、メッシュ式ネブライザMN-200に無停電電源装置または電池から電力を供給することをお勧めします。</p>
<p>電源周波数 (40/60Hz) 磁界 IEC 61000-4-8</p>	<p>3 A/m</p>	<p>3 A/m</p>	<p>電力周波数磁界は、一般的な商業または病院環境と同等レベルである必要があります。</p>

※U₁ は、試験レベルを適用する前の主電源電圧です。

ガイダンスおよびメーカーの宣言 - 電磁免疫ティ

メッシュ式ネブライザMN-200は、以下に指定された電磁環境での使用を意図しています。指定された環境で使用してください。

<p>免疫ティ試験</p>	<p>IEC60601 試験レベル</p>	<p>適合性レベル</p>	<p>電磁環境 - ガイダンス</p>
<p>伝導 RF IEC 61000-4-6</p>	<p>3 V 150kHz~80MHz</p>	<p>3 V</p>	<p>MN-200モデル(ケーブルを含む)を携帯用および移動用RF通信機器に推奨分離距離より近づけないでください。 推奨分離距離 $d = 1.2 \sqrt{P}$ $d = 1.2 \sqrt{P}$ 80MHz~800MHz $d = 2.3 \sqrt{P}$ 800MHz~2.5GHz ここで、「P」は送信機メーカーによる送信機の最大定格出力(W)、「d」は推奨分離距離(m)を指します。 電磁場の現地調査によって決定された固定RF送信機からの電場強度について、aは各周波数範囲bにおける適合性レベルよりも低いことが望ましいです。 以下のマークが付いている機器の近くでは、干渉が発生する可能性があります。</p> 
<p>放射性 RF IEC 61000-4-3</p>	<p>3 V/m 80MHz~2.5GHz</p>	<p>3 V/m</p>	<p>電磁場の現地調査によって決定された固定RF送信機からの電場強度について、aは各周波数範囲bにおける適合性レベルよりも低いことが望ましいです。 以下のマークが付いている機器の近くでは、干渉が発生する可能性があります。</p> 

※ 80MHz、800MHzでは、より高い周波数帯が適用されます。

※ 状況によってこれらのガイドラインを適用できないものがあります。電磁波は、構造物、物体、人による吸収と反射の影響を受けます。

a. 無線（ピーク/コードレス）電話や地上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM・FM無線放送、テレビ放送など、理論的には電界強度を正確に予測できない固定送信機。固定無線周波数送信機の電磁環境を評価するために、電磁界調査を検討する必要があります。MN-200マイクログリッド装置の測定された電界強度が上記の無線周波数コンプライアンスレベルより高い場合、MN-200マイクログリッド装置を観察し、その正常な動作を確認する必要があります。異常が認められた場合は、MN-200マイクロメッシュデバイスの方向や位置を再調整するなどの補完措置が必要な場合があります。

b. 周波数帯域150kHz～80MHzでは、電界強度は3V/m以下であることが望ましいです。

携帯型および移動型RF 通信機器と メッシュ式ネブライザMN-200の推奨分離距離

メッシュ式ネブライザMN-200は、放射RF妨害が制御された電磁環境下での使用を意図しています。メッシュ式ネブライザMN-200のご使用時は、通信機器の最大出力電力に応じて、以下の推奨に従って携帯型および移動型RF 通信機器（送信機）とメッシュ式ネブライザMN-200の間に最小距離を保つことによって、電磁妨害を防止することができます。

送信機の定格最大出力W	送信機の周波数による分離距離/m		
	150KH～80MHz $d=1.2\sqrt{P}$	80MHz～800MHz $d=1.2\sqrt{P}$	800MHz～2.5GHz $d=1.2\sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記に記載されていない最大出力電力で定格された送信機の場合、推奨分離距離d（メートル）は、送信機の周波数に適用される式を使用して推定できます。Pは送信機メーカーによる送信機の最大出力電力定格（ワット）です。

※80MHz、800MHzでは、高い方の周波数帯の分離距離が適用されます。

※このガイドラインは、全ての状況に適用されるわけではありません。電磁伝搬は、構造物、物体、人による吸収と反射の影響を受けます。

8.トラブルシューティング

使用中に何か問題が発生した場合は、次の表で解決策をご確認ください。

こんな時	考えられる理由	対応策・解決策
電源は入っているが、薬液の噴霧量が少ない 電源表示灯が1秒点滅し電源がオフになる	薬液カップが正しく装着されていない	薬液カップが正しく装着されていることを確認してください(「3.3マスク・マウスピースの取り付け方法」5ページをご参照ください)
	薬液カップの薬液が10秒以上噴霧部分に接触していない	本器の角度を変え、薬液が浸るようにしてください
	薬液カップのメッシュが汚れている	薬液カップを洗浄してください(「4.1薬液カップの洗浄・消毒方法」10ページをご参照ください) それでもまだ問題が解決しない場合は新しいものに交換してください
電源表示灯が点灯せず、噴霧しない	薬液カップの電極が液体や薬で汚れている	電極の汚れを取ってください(「4.2本体の洗浄方法」11ページをご参照ください)
	充電電池の残量が少ない	充電をしてください
	薬液カップのメッシュが割れている	新しい薬液カップに交換してください(「5.別売品について」13ページをご参照ください)
	薬液カップの電極に薬液や水が入っている	電極の薬液や水を拭き取ってください(「4.2本体の洗浄方法」11ページをご参照ください)
	薬液カップの電極が汚れている	電極の汚れを取ってください(「4.2本体の洗浄方法」11ページをご参照ください)
使用中に勝手に電源が切れてしまう	薬液カップのメッシュにゴミが詰まっている	薬液カップを洗浄してください(4.1薬液カップの洗浄・消毒方法」10ページをご参照ください) それでもまだ問題が解決しない場合は新しいものに交換してください
	薬液カップが正しく装着されていない	薬液カップが正しく装着されていることを確認してください(「3.3マスク・マウスピースの取り付け方法」5ページをご参照ください)
	薬液がなくなった	薬液カップに処方された薬液を適量入れてください

使用中に勝手に電源が切れてしまう	薬液が10秒以上メッシュに接触していない	本器の角度を変え、薬液が浸るようにしてください
	使用中に強い波動・振動がする	動かないよう本体を持ってください
	薬液カップが使用できない	新しい薬液カップに交換してください(「5.別売品について」13ページをご参照ください)
20分経っても自動的に電源がオフにならない	薬によっては、薬液の中で泡が出ることがある	電源を切り、泡を取り除いてください
	薬液カップの電極に薬液や水が入っている	電源を切り、残っている薬液または水を拭き取ってください
	薬液カップまたは電極が汚れている	電源を切り、電極の汚れをとってください
	薬液カップに異常がある	新しい薬液カップに交換してください(「5.別売品について」13ページをご参照ください)
薬液カップの薬液が漏れている	薬液カップの破損やプラスチックの老朽化	新しい薬液カップに交換してください(「5.別売品について」13ページをご参照ください)

※上記の対処法を試しても正常に吸引できない場合は、販売店にご相談ください。

9. 記号の説明

	BF形装着部		使用に関する注意
	二重絶縁		薬に関する注意
	洗浄不可		子供に関する注意
	取扱説明書を参照		電源に関する注意
	一般的注意		洗浄に関する注意
	ロット番号		製造番号

医療機器分類	一般医療機器
一般的名称	超音波ネブライザ
販売名	メッシュ式ネブライザMN-200
型番	MN-200 (YS38-E)
サイズ	約38 x 30 x 66 mm
質量	約43g (電池含む)
定格電圧	DC 3.7V (リチウムイオン電池) DC 5V、2A (USB充電時)
消費電力	1.5W
超音波発振周波数	120kHz ± 10%
噴霧能力	≥0.2ml/分
薬液カップ容量	0.5~10ml
噴霧粒子径	5 μm ± 25%
防水性能	IP22
電池の稼働時間	(フル充電時) 約1時間
保証期間	12ヶ月 (本体のみ)
使用環境条件	温度: 10℃~40℃ 湿度: 5~80% RH (但し、結露のないこと) 気圧: 86.0~106.0 kPa
保管環境条件	温度: -20℃~55℃ 湿度: 5~80% RH (但し、結露のないこと) 気圧: 70.0~106.0 kPa

※上記仕様・デザイン等は変更される場合があります。

※IPコード：人体・固形物および水の侵入に対する保護等級を示す。

22等級は『≥ 12mm の直径、また指の挿入に対する保護』かつ『垂直より左右 15° 以内からの降雨による有害な影響を受けない』

外国製造業者

Changzhou Zhengyuan Medical Technology Co., Ltd.

中華人民共和国

製造販売業者

株式会社 I C S T

埼玉県さいたま市中央区上落合5丁目17-15-4タワー

TEL: 048-857-8026 FAX:048-857-8041

メール: info@icst.jp

12. 電子添文

電子添文は下記の2次元コードまたは添文ナビ(スマートフォンアプリ)で化粧箱のGS1-128バーコードを読み取って入手してください。

ご使用の際は電子添文を確認してからご使用ください。



保証書【メッシュ式ネブライザ MN-200】

届出番号：11B1X10017000024

この度は当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
 万が一通常のご使用において保証期間内に不具合が発生した場合は、保証規定にしたがって無償にて修理いたします。
 お問い合わせは販売店までご連絡願います。

ご購入日：

年 月 日

保証期間：

ご購入日より1年間

※製品の保証は日本国内のみ有効です。

お客様

お客様名：

ご住所：〒

Tel:

販売店

販売店名：

ご住所：〒

Tel:

製造販売元：株式会社 ICST

埼玉県さいたま市中央区上落合5丁目17-15-4タワー

※ご購入日および販売店の明記が無いものは無効となります。

【保証規定】

1. 弊社製品が万一自然故障した場合は、保証規定により1年間無料修理いたします。
2. 次の場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。
 - ①ご使用上の誤り(取扱説明書に記載のない操作等)により生じた故障。
 - ②弊社または指定業者以外で修理、改造、分解等をされた場合。
 - ③火災、天災、地震、落雷、異常電圧等による故障。
 - ④浸水、落下、泥、砂などにより生じた故障。
 - ⑤保管上の不備や、手入れの不備による故障。
 - ⑥保証書の添付のない場合。
 - ⑦故障の原因が製品以外の部分である場合。
 - ⑧電池などの消耗に起因する故障。
 - ⑨本書にお買い上げ年月日、お客様、販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
3. 保証の対象となる部分は製品本体のみで、製品に記録されているデータおよび消耗品(電池・ストラップ類)は保証の対象とはなりません。また、製品を修理・交換される場合につきましても製品に記録されているデータが消去される事がございますのであらかじめご了承ください。
4. 製品の使用または故障に起因する直接的および間接的な損害につきましては一切補償いたしません。
5. 保証書は本規定にて明示した期間、条件下での無償保証をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

ご購入いただき誠にありがとうございます

株式会社ICSTは皆様の健康維持にお役立ちできる製品を提供してまいります